

令和 7 年度知覧城跡保存活用計画策定支援業務委託

仕 様 書

1. 事業名

令和 7 年度知覧城跡保存活用計画策定支援業務委託

2. 業務概要

(1) 目的

知覧町城跡保存活用計画（以下「保存活用計画」という。）は，国史跡知覧城跡の適正な保存活用を図るため，総合的に文化財の保存・活用・整備を計画的かつ持続的に行っていくため策定するものとする。

(2) 期間

契約日から令和 8 年 3 月 6 日まで

(3) 業務対象地

国史跡知覧城跡（南九州市知覧町永里 4327 番地ほか）

3. 保存活用計画の策定

受託者は，保存活用計画の内容をふまえ，以下の項目について，委託者側と協議の上で作業（資料収集整理，調査，検討，文章，図面等作成編集ほか）を行い計画立案し，委託者側が別途設置する「知覧城跡保存活用検討委員会」（以下「検討委員会」という。）での審議結果に従い，保存活用計画を 2 か年において策定するものとし，本業務の最終年度にあたる。

（基本計画）

(1) 全体計画の検討

基本方針に基づき，本史跡の保存，活用，整備を行っていくため，史跡地の場所毎の特性に応じたゾーニングを行い，方針を整理する。

4. 検討委員会の運営支援（3 回）

検討委員会については，資料の作成及び説明等を行う。

5. 打合せ協議（3回程度）

打ち合わせ協議は、各年度において、着手時、中間時、完了時の3回程度を基本とする。ただし、委託者との協議により必要と認められた場合はにおいて、この限りではない。

6. 提出成果品

受託者は、以下のものを提出するものとし、電子データはDVD等電子媒体にて納入するものとする。ただし、『知覧城跡保存活用計画』の印刷原稿に係るデータ一式については、令和7年12月22日までに納品すること。

- ① 業務報告書（A4版）1部及びデジタルデータ一式
- ② その他委託者が必要と認める資料一式

7. 業務に係る留意事項

- ① 業務は、過去5年以内にレイアウト、編集業務の経験を有する者が従事すること。
- ② 業務は、学芸員の資格を有し、かつ、歴史ないし考古学分野の論文等の執筆歴を有する者が従事すること。
- ③ 検討委員会等の開催に際して、委員の日程調整及び出席依頼は、委託者が行う。
- ④ 関連事業との協議のため資料作成並びに協議へ参加すること。

8. その他留意事項

- ① 受託者は、計画策定作業や資料作成等にあたり、委託者側の指示に基づき、委託者側の意図に応じた図表案や文案を指示するとともに、委託者側の意図に沿って、必要に応じて図表案や文案の修正作業等を行うものとする。
- ② 成果品の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）その他一切の権利は委託者に帰属（当該業務委託契約の契約代金の支払いと同時に受託者から委託者へ譲渡）するものとする。

- ③ 成果品の著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む）その他一切の権利について、受託者から委託者への権利譲渡の対価は、当該業務委託契約の契約書に記載する契約金額に含むものとする。
- ④ 受託者は、成果品について、委託者に対し、著作権人格権を行使しないものとする。
- ⑤ 受託者は、成果品が第三者の著作権、肖像権その他いかなる権利も侵害するものでなく、かつ、合法的なものであることを保証するものとする。万一、これに関して第三者から異議、苦情等の申立てあるいは実費または対価の請求、損害賠償請求等があった場合には、弁護士費用も含めて、受託者の責任と負担においてこれを処理し、委託者には一切迷惑、損害をかけないものとする。
- ⑥ その他業務に係る詳細内容については、必要に応じて、委託者と受託者が協議の上決定するものとする。